森林環境教育 あれこれインフォメーション

Q&A

Q1:装備について教えてください

A:森林で活動する場合は、長袖、長ズボン、軍手を着用し、運動靴や長靴等の歩きやすい靴をはいてください。プログラムによっては、ヘルメットが必要な場合もあります。

Q2:どんな道具があるのですか。

A:それぞれのプログラムによって使う道具は異なりますので、あらかじめ十分に打ち合わせる必要がありますが、例えば、苗木を植える穴を掘る鍬(唐鍬)、草やつる、潅木を刈り払う鎌、枝打ちで、枝を打ち落とす鉈、切り落とす鋸などです。

森林環境教育 あれこれインフォメーション

Q3：伐採にも種類があるのですか。

A： 主伐と間伐があります。

◎**主伐**は、利用期に達した利用するために伐採すること。伐採後、次の世代の樹木の植栽や育成を伴います。また、主伐には、一定範囲の樹木を一時に全部又は大部分伐採する**皆伐**と、林内の樹木の一部を抜き伐りする**択伐**があります。

◎**間伐**は、林分の混み具合に応じて、目的とする樹種の本数を調整する伐採で、一般に、主伐までの間に間断的に行われます。

Q4：更新とは何ですか。

A： 樹木を伐採した跡地などに新しく木を植えたり、近くの木から落ちた種により新しい苗木が育って森林が代替わりすることです。

Q5：保育とは何ですか、どんな種類があるのですか。

A： 植栽を終了してから伐採するまでの間に、樹木の生育を促すために行う下刈、除伐等の作業の総称です。

◎**下刈**は、植栽した苗木の生育を妨げる雑草や灌木を刈り払う作業で、一般に植栽後の数年間、毎年、春から夏の間に行われます。

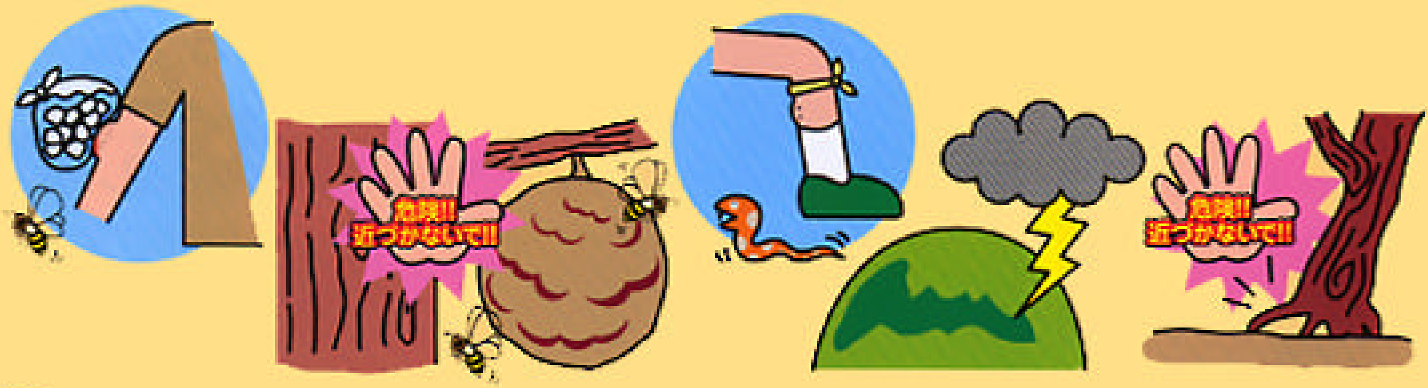
◎**つる切り**は、育てようとする樹木に巻き付くつる類を取り除く作業で。一般に、下刈りを終了してから、育てようとする樹木の枝葉が互いに接する状態になるまでの間に行います。

◎**除伐**は育成の対象となる樹木の生育を妨げる他の樹木を刈り払う作業。一般に、下刈を終了してから、植栽木の枝葉が茂り、互いに接し合う状態になるまでの間に数回行われる。

◎**枝打ち**は、節のない柱材の生産や林内の光の調整等のため、立木の枝を切り落とす作業で、通常、立木の最も長い枝より下の部分の枝を切り落とします。

森林環境教育 あれこれインフォメーション

Q6：安全対策はどうしたらいいのですか。

A： それぞれのプログラムによって、安全対策は異なりますので、事前に十分な打ち合わせが必要です。次のような安全対策が必要です。

安全管理の基本的要素		具体的な対策
計画段階で予め危険を想定し回避策を講じる	①気象による危険（大雨、増水、強風、落雷など） ②地形による危険（転落、落石、落枝など） ③危険な動植物（スズメ蜂、毒蛇、ウルシ、毒草・毒きのこなど） ④人による危険（刃物・道具・火の扱い、上下～接近作業など）	①中止・避難方法の周知、雨天時の別メニュー準備 ②場所選定にあたり、事前の下見、危険個所のチエック ③事前の下見によるチエックを行い、危険な植物のサンプル スズメ蜂の飛翔や巣が見られる区域は除外 ④道具等の扱い、安全作業、危険な作業を実演し周知、参加者に応じた無理のないプログラム
緊急時の避難・連絡・移送体制を整備する	①緊急時の連絡、避難 ②事故や急病の際の応急手当、病院への連絡・移送	①行動範囲の設定、集合を知らせる方法（呼子など）や避難方法の周知、携帯無線等連絡手段の確保 ②救護、連絡、移送の方法、担当体制の整備。 ③スタッフの安全管理講習や研修
体験指導者、補助指導者を確保する	①体験指導者の選定 ②補助指導者の確保	①指導林家、林業改良普及員、森林インストラクター、森林管理署等職員、森林組合、その他地域の専門家や達人
参加者に安全を守るためルールを徹底する	①安全に体験を進めるためのルール ②道具、刃物、火の取り扱い	①行動範囲の設定、安全上の注意事項の実演や周知 指導者の指示にしたがうことを徹底 ②自分の身は自分で守ることの徹底 ③1人が指導しているときは、もう1人が全体をみる ④人数確認の徹底（必要に応じ、2人1組で参加者同士が確認するバディシステムなども採用）
森林体験活動の保険に加入する	傷害保険、賠償責任保険	「ボランティア活動保険」（市町村社会福祉協議会） 「森林ボランティア保険」 「スポーツ安全保険」（市区町村スポーツ安全協会支部）